

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	近現代建築資料等の収集・保存体制整備		担当部局庁	文化庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	長官官房政策課		政策課長 大木高仁	
会計区分	一般会計		施策名	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第17条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	文化審議会文化政策部会審議経過報告において示された重点施策群の一つである「文化芸術の次世代への確実な継承」の一環として、「文化芸術分野のアーカイブ構築を着実に進めるとともに、その積極的な活用策を検討する。そのため、作品、資料等の所在情報の収集や所蔵作品の目録(資料台帳)の整備が可能な分野から早急に着手する」との提言を踏まえ、近代以前の伝統的建造物に係る保存政策に比し十分とは言えない近現代建造物について、その学術的・歴史的・芸術的価値を次世代に確実に継承して行く体制を整備する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	湯島合同庁舎の一部を改修し、近現代建造物の学術的・歴史的・芸術的価値を次世代に確実に継承して行くための機能を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算			398	0	
		補正予算			0		
		繰越し等			0		
	計			398	0		
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	近現代建造物について、その学術的・歴史的・芸術的価値を次世代に継承する		成果実績				
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	湯島合同庁舎の一部を改修し、近現代建造物の学術的・歴史的・芸術的価値を次世代に確実に継承して行くための機能を整備する		活動実績(当初見込み)			()	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	施設施工旅費	2	0				
	施設施工庁費	35	0				
	施設整備費	361	0				
計	398	0	※平成23年度限りの経費				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・過去の事業仕分けの結果や横断的な見直し基準等を踏まえ適切に実施していくこととする。</p> <p>・近現代建造物について、その学術的・歴史的・芸術的価値を次世代に継承して行く体制は未だ整備されておらず、国主体で実施すべき事業であると認められる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>本事業は、過去の事業仕分けの結果等を踏まえたものとなっており、執行面における課題もない。また、事業の成果目標も立てられていることから、適切な事業と認められる。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p>			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文化庁
(398百万円)



【支出委任】

国土交通省
(398百万円)

湯島合同庁舎の一部を改修し、近現代建造物の学術的・歴史的・芸術的価値を次世代に確実に継承していくための機能を整備

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0